

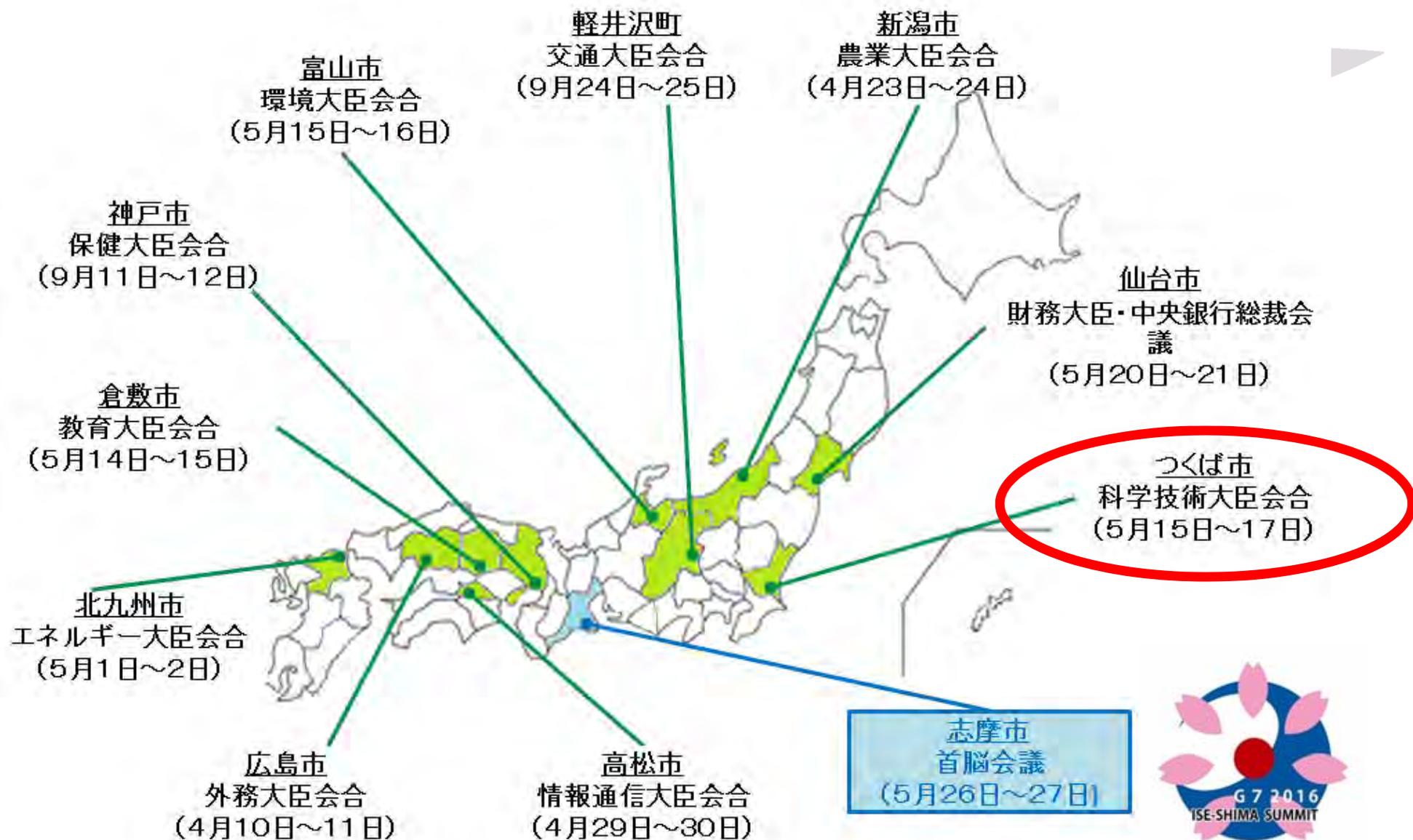


G7茨城・つくば科学技術大臣会合

(2016年5月15日~17日)

平成28年2月19日

伊勢志摩サミット及び関係閣僚級会合の開催地



G7科学技術大臣会合とは



- ▶ 科学技術大臣会合は、2008年の洞爺湖サミットの際、日本が提唱し、沖縄で初の会合を開催。



- ▶ 途中、諸般の事情により、開催されない時期もあったが、2013年に英国で行われた会合から定例的に開催することが確認。



- ▶ 2015年はドイツ・ベルリンで開催。（2014年はロシアでの開催であったが、諸般の事情により中止）



- ▶ **G7茨城・つくば科学技術大臣会合**
2016年5月15日～17日（於：つくば市）



G7科学技術担当大臣（参加予定大臣）

【議長】



日本
島尻 安伊子
科学技術政策担当大臣



イタリア
ステファニア・ジャンニーニ
教育・大学・研究大臣



米国
ジョン・ホルドレン
科学技術担当大統領補佐官



カナダ
カースティ・ダンカン
科学大臣



英国
ジョセフ・ジョンソン
大学・科学大臣



フランス
ティエリー・マンドン
高等教育・研究大臣



ドイツ
ヨハンナ・ヴァンカ
教育研究大臣



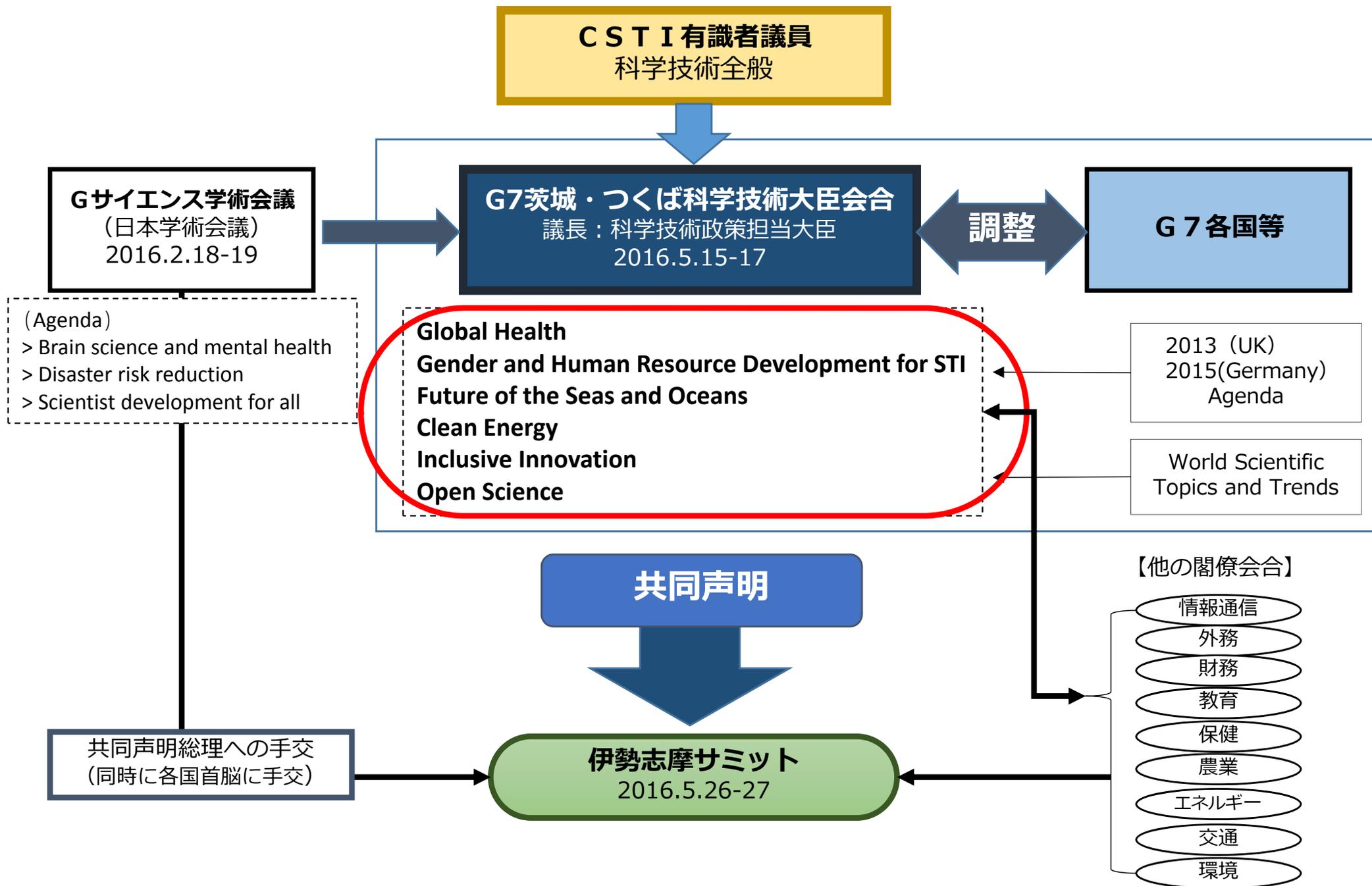
EU
カルロス・モエダス
欧州委員（研究・科学・イノベーション担当）



2016年1月現在



G7茨城・つくば科学技術大臣会合のアジェンダ設定について



アジェンダについて

① **Global Health**

保健医療と科学技術

～最新医療技術開発の促進と地球規模課題の解決を目指して～

② **Gender and Human Resource Development for STI**

次代を担う科学技術イノベーション人材の育成

～人材の多様性、流動性の確保と女性活躍の拡大に向けて～

③ **Future of the Seas and Oceans**

海洋の未来：科学的知見に基づく海洋のガバナンスの確立に向けて

④ **Clean Energy**

革新的エネルギー技術開発：

2050年を見据えた革新的技術の開発、導入に向けた取組促進

⑤ **Inclusive Innovation**

持続可能な経済成長モデルの構築～格差のない社会を目指して～

⑥ **Open Science**

サイエンスの新たな時代の幕開け

～社会全体のイノベーションシステムの強化を目指して～

上記のうち、③及び④については、昨年ドイツベルリンで開催されたG7科学大臣会合のフォローアップも兼ねて議論を行う。

(参考) これまで行われた議論

【日 時】	2008年6月15日 (日)
【議長国】	日本
【場 所】	沖縄県名護市 (万国津梁館)
【議 題】	<ul style="list-style-type: none">- 地球規模課題の解決に向けた国際協力による取組み (低炭素社会の実現に向けた研究開発)- アフリカ等の開発途上国との科学技術協力- 研究開発のリソースに関する協力 (大規模研究施設、人材の国際流動化)

【日 時】	2013年6月12日 (水) ~13日 (木)
【議長国】	英国
【場 所】	ロンドン (ロンドン王立協会)
【議 題】	<ul style="list-style-type: none">- グローバル課題 (薬剤耐性問題)- グローバル研究インフラ- 科学研究のオープンデータ- 科学研究の成果へのアクセスの拡大 <p>※本会合は、科学技術大臣会合とアカデミー会長会合を合わせて開催された。</p>

【日 時】	2015年10月8日 (水) ~9日 (木)
【議長国】	ドイツ
【場 所】	ベルリン
【議 題】	<ul style="list-style-type: none">- 顧みられない熱帯病- 「海洋の未来：人間の活動が海洋システムに及ぼす影響」- 大規模研究インフラについて (事務者会合からの報告)- クリーンエネルギー